

リコール等情報

リコール情報 : ZRX1200 DAEG (2016年8月26日届出)

[「印刷用pdfをダウンロード」](#)

リコール届出番号	3884	リコール開始日	平成28年8月26日
不具合の部位(部品名)	原動機(冷却水配管)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンの組立工程において、シリンダと冷却水配管の接続部に使用しているゴム製のOリングの組み付けが不適切なため、Oリングが適切に組み付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、Oリングが損傷し冷却水配管接続部より冷却水が多量に流出し、最悪の場合、オーバーヒートするおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該部位を点検し、Oリングが適切に組み付けられていないものは交換を行う。		
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者:ダイレクトメールで通知する。 ・ 自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に掲載する。 ・ 改善実施済車には、ステアリングヘッドパイプの車台番号打刻位置付近に No.3884のステッカーを貼付する。 		

型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の 台数
EBL-ZRT20D	ZRX1200 DAEG	ZRT20D-022003 ~ ZRT20D-023339 平成27年10月2日 ~ 平成28年7月8日	1335
合計			1335台

〈ご注意〉対象車の製作期間はご購入された時期とは異なる場合があります。
また、対象範囲内であっても、一部に回収済の車両もあります。

[改善箇所説明図](#)

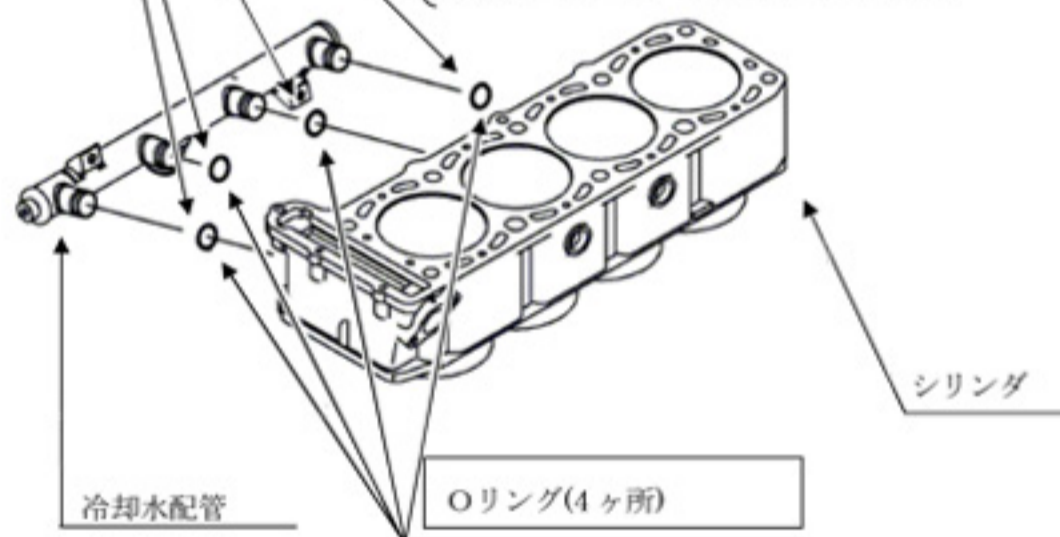
改善箇所説明図 ZRX1200 DAEG

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

エンジンの組立工程において、シリンダと冷却水配管の接続部に使用しているゴム製のOリングの組み付けが不適切なため、Oリングが適切に組み付けられていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、Oリングが損傷し冷却水配管接続部より冷却水が多量に流出し、最悪の場合、オーバーヒートするおそれがある。



改善の内容

全車両、当該部位を点検し、Oリングが適切に組み付けられていないものは交換を行う。

注： は、交換部品を示す。

識別：冷却水配管に識別ペイントを追加する。

[リコール情報へ戻る](#)